

紅葉の奥丸山・中崎尾根・鏡平

2012.10.7～9 単独行

天気予報・山小屋の営業期間などに加えて3連休で駐車場が確保できるか？等々で今回も目的地がなかなか決まらなかった。A案は今回決行したもの。B案は笠ヶ岳～クリヤ谷コース。C案は黒四ダム～東一ノ越経由～一ノ越山荘（泊）～五色が原～平の小屋（泊）～黒四ダム。北アルプス全コース踏破の目標達成に向けての3案です。A案の奥丸山は「展望の山」天気が良いのが絶対条件です。登山計画（届）は3案共作成し、前日確定した。ただ駐車場が確保できるか？の不安を残して。

10/7（日） 2：30～4：15 新穂高温泉登山者用無料駐車場（84KM. 標高1000M 朝食）5：40～7：10 わさび平小屋（1400M）7：20～7：40 奥丸山登山口 ～9：40 中崎尾根～10：50 奥丸山（2439M 昼食）12：50～13：40 槍平小屋（標高2000M 泊）

10/8（祭） 6：45～7：50 奥丸山 8：10～8：20 分岐 8：25～10：10 分岐 10：20～10：35 千丈沢乗越（2734M 昼）11：10～13：50 樺沢岳（2755M）13：55～14：15 双六小屋（2600M 泊）

10/9（月） 6：15～7：15 笠ヶ岳分岐～7：55 鏡平小屋（2300M）8：20～8：50 シシウドガ原～9：40 秩父沢 9：50～11：00 わさび平小屋（昼）11：40～12：45 駐車場 13：00～（入浴）16：05 帰宅

1：00に目が覚めてしまう。寝られそうもないので出かける。時々小雨が降る。運転中も空きスペースが無さそうなので何処へ強引に止めるか？考える。ダメ元で150台収容の駐車場へ行く。入り口手前にも駐車場で一杯。案の定「満車」の札が出ている。所が丁度整理係が来て「1台空いている」と言って案内してくれる。「ラッキー！」鍋平の駐車場に回されるとかなり遠くなる。有料駐車場は6時間毎に500円なので3日間だと大変。4時間睡眠で眠いけど朝飯食べて明るくなるのを待つ。歩き始める。左俣林道のゲートまで延々と片側駐車場で一杯。天気はまあまあ良い。笠ヶ岳が見えるが雪で白い。降雪があったようだ。多くの登山者が私を抜いていく。女性の単独がかなりいる。笠新道の入り口では笠に向かう登山者が準備中。急登で有名、ご苦労さん！。わさび平小屋を出て20分でコンクリートの立派な橋があり、鏡平・双六方面へ向かう登山者が間違っただけのようにロープが2本張ってある。しかし圧倒的少数派の「奥丸山組」の為に白ペンキで奥丸山と大きく書いてある。「アイデア賞」ものの案内方法だ。感心する。立派な橋を渡り舗装道路を少し進むといよいよ細い登山道になる。この登山道は5年位前に開通した。

わさび平小屋



従って私の持っている地図には載っていない。ネットで検索すると急登・木の根が多く歩き難くて、滑りやすいので注意とある。急登は苦にならない小生なのでユックリ登る。寝不足と年のせいで時々立ち止まって息を整える。ジグザクに上手に道は作られている。50歳位の女性の単独とすれ違う。山頂までで唯一合った登山者だ。昨日槍平小屋に泊まり奥丸山経由で新穂高に下るのだろう。最近の女性はなかなかだ。そんなに山慣れした

感じではない人だが。中崎尾根の稜線に出る。

中崎尾根分岐1



中崎尾根分岐2



このルートは積雪期の槍ヶ岳登山に良く利用されるようだ。此処から尾根沿いに新穂高温泉まで下れるようだが歩く人は限定されるようだ。(地図には荒廃し登降困難と書かれているが、中崎山までは普通の人でも歩けるのだろう案内板にハッキリ「中崎山」と書かれている。踏み跡もハッキリしている。) ここから奥丸山への登山道はゆるい登りで歩き易い道。右は大キレット～穂高岳、左は笠ヶ岳方面を展望出来る。2800M以上は降雪で白くなっている。奥丸山山頂に到着。まわりの山は山頂部分が雲の中。今に晴れるだろうと昼食食べながら待つ。槍ヶ岳から中崎尾根を下ってきた単独の登山者が3人来る。話をしながら晴れるのを待つが逆に雲に覆われてしまう。2時間待ったが晴れそうもないので下山する。



槍平小屋

槍平小屋は空いている。今夜が最後の営業だ。此処は500円のシニア割引がある。この制度は他の小屋にも広がって欲しい。

8日は快晴。私の話のせいか宿泊者の半数近くが奥丸山に登る。出遅れた私が山頂に一番乗り。昨日展望が効けば今日は山頂に行かず、分岐から千丈沢へ向かうのだが、どうしても「槍・穂高・笠ヶ岳」の展望台と言われる奥丸山山頂の展望を見たいので往復30分損をするが山頂へ。続いて10人位が山頂に到着賑やかになる。素晴らしい展望だ。

奥丸山山頂から槍ヶ岳方面



奥丸山山頂から笠ヶ岳方面



奥丸山山頂から槍ヶ岳を望む



大キレット



奥丸山山頂からこれから向かう双六方面を望む



ただ残念なのは穂高岳側は太陽で逆光になり、写真を撮るには向かない。私一人だけ中崎尾根を千丈沢乗越に向けて歩く。紅葉が最盛期、右側は槍・穂高。左側は双六～笠ヶ岳を展望しながらの素晴らしい尾根道。傾斜もゆるい。笹も刈り払いがされている。槍から下ってくる登山者が総計20人位。

もはや「破線コース」でなく「一般道」にすべきだろう。危険な所も無い。たださすがに千丈沢乗越手前は急で歩きづらい。千丈沢乗越には7名ほどの登山者が展望を楽しんでいる。此处からは大天井岳～裏銀や立山連峰の展望が素晴らしい。西鎌尾根を双六小屋目指して歩く。展望の良い登山道だ。進むにつれて槍・北鎌尾根が全貌を現す。

中崎尾根から槍～西鎌尾根を望む



中崎尾根から北穂～西穂高岳



足を止めては展望を楽しみ、写真を撮る。もう2度と歩かない区間になるだろうから。独特の色をした硫黄尾根が眼下に。雪のように真っ白な部分は何なのか？進行方向は三俣蓮華岳方面。縦沢岳の山頂標識は2か所にあった。

中崎尾根・奥丸山を振り返る。

右上は歩きたいクリヤ谷

笠ヶ岳・左は奥丸山



千丈乗越で上は槍ヶ岳・小槍

今日宿泊する懐かしい双六小屋が眼下に見える。昨日の泊りまで混雑したようだが、今日は空いていてユックリ寝られる。

千丈乗越から裏銀方面を望む



西鎌尾根から槍ヶ岳・北鎌尾根を望む



双六小屋



弓折乗越から槍～西穂。下は鏡平小屋



9日は鏡平付近の紅葉が楽しみ。

鏡平小屋



鏡平からの槍～北穂



カメラ愛好者の押し寄せるスポットになっている。テント場には10張ほど張ってあった。そろそろ寒くて大変だろう。最近は女性のテント泊が目立つ。小屋代が高いせいもあり？最近ではテント泊が目立つ。

小池新道入口



新穂高の湯



(帰宅して新聞を見たら、7日の涸沢のテントの数は1020張りだったと書かれていた) 槍の近くに太陽が昇っているので槍～穂高方面の写真が逆光になり撮りづらい。残念。分岐では、明日の天気も良さそうなので、笠ヶ岳山荘に泊まり「念願の」クリヤ谷を下りたいが明日は勤務なので残念だが鏡平への道を下る。昨日鏡平小屋に泊まった人が登ってきたりで、小便したいが我慢する。鏡平周辺はヒソソリしていた。予想に反してカメラマンが少なかった。それでも6人程いた。騒ぐほどロケーションも紅葉もそれほどの感じ。かえって小屋より少し下の西斜面の紅葉が良かった。此処からの下りは大石など石の多い登山道で膝が悪い。案の定、途中で膝が痛いと言う女性の単独行がいた。山々やイワナの居そうな沢を眺めながら下山。登山者用駐車場はまだ8割位の車が駐車していた。天候に恵まれて、暖かく、紅葉も良く、充実・満足の素晴らしい思い出の山行でした。13～14日は連休で天気も良さそうで、笠ヶ岳山荘(泊)～クリヤ谷登山をしたいが中3日の休養では疲れが抜けず、笠新道の登りもあり来年にお預けに。